

令和7年度国際総合競技大会における日本代表選手団帯同医の募集について

令和6年12月25日

公益財団法人日本パラスポーツ協会(JPSA)/日本パラリンピック委員会(JPC)では、令和7年度の国際総合競技大会日本代表選手団に帯同する医師を以下の条件で募集する。

【要件】

1. 別紙「令和7年度国際総合競技大会における日本代表選手団帯同医の業務について」の内容をよく理解し、業務を遂行できる者。
2. 日本代表選手団を派遣する全日程に帯同できる者。
 - ①タシュケント 2025 アジアユースパラ競技大会
アジアユースパラ競技大会は2024年12月19日に開催見送りの発表を受け募集を保留
 - ②ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会(イタリア・ミラノ/コルティナ)
大会期間:2026年3月6日(金)開会式 ~15日(日)閉会式 (10日間)
※派遣期間は大会期間の前後数日を含み予定していますが、大会により多少前後します。
3. 障がいのある者の治療に携わった経験が5年以上ある者。
4. 心身ともに健康であること。
5. 医療チームとして協調性があること。
6. パラリンピック競技大会、国際競技大会、ジャパンパラ競技大会に事前の参加経験があること。
7. 専門科目:
内科系1名・外科系・リハ医あるいは他科1名を含む合計3名。
※最終エントリー選手数により2名となる場合があります。
※原則、女性医師を少なくとも1名は含むことを想定。

【提出書類】

1. 履歴書
2. 障がいのある者の治療に関わった経験(対応した障がいの種類や障がいの程度など)・大会での医療経験についての説明
※いずれも特に決まった様式はありません。

【提出期日】

- ②令和7年6月27日(金)まで必着

【提出先】

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地
埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション科内
(公財)日本パラスポーツ協会 医学委員会 宛
m_fujimo@saitama-med.ac.jp (担当:藤本幹雄)
メールでご提出の際に、数日中に受領報告の返信を行いますのでご確認ください。

【選考方法について】

当協会の「国際総合競技大会メディカルスタッフ選考委員会」にて、推薦者を選考したのち、選考結果はそれぞれの提出期日から 4 週間以内にご連絡させていただきます。なお最終決定は、決定者およびご所属先のご了承後、日本パラリンピック委員会運営委員会の承認をもって正式決定されます。

以上

(公財)日本パラスポーツ協会 医学委員会
委員長 緒方 徹